

【第5回東日本ジュニアラグビー東北ジャンボリー

兼 第44回東北中学生ラグビーフットボール交流大会要項】

1 【目的】

清涼な高原において、U15の中学生ラグビー選手に良質な天然芝グラウンドなどでの試合を提供することによって有意義で思い出に残る時間を創出するとともに以下の目的を達成する。

- (1) 中学生選手、ジュニアラグビーに携わる関係者の方々の親睦と交流を促進する。
- (2) 中学生選手、指導者、レフリーの方々のラグビーに対する正しい理解を深める。
- (3) 成長期にある中学生選手の心身の発達に応じた技能の向上を図る。
- (4) 前述の各項を達成することによって関東管下・東北、東日本地域全体のジュニアラグビーの普及・育成・発展に寄与するとともに、中学生選手が健全な社会形成者としての必要な資質を会得する一助とする。

2 【名称】 第5回東日本ジュニアラグビー東北ジャンボリー

兼 第44回東北中学生ラグビーフットボール交流大会

3 【主催】 関東ラグビーフットボール協会

4 【共催】 (公財)日本ラグビーフットボール協会 東北少年ラグビー連絡協議会

5 【主管】 (一社) 岩手県ラグビーフットボール協会

6 【後援】 岩手県教育委員会 (公財) 岩手県スポーツ協会 八幡平市教育委員会 岩手県中学校体育連盟 東北中学校体育連盟 (一社) 八幡平市観光協会

7 【期間】 2023年8月5日(土)、8月6日(日)

8 【会場】 岩手県 八幡平市ラグビー場 八幡平市松尾寄木7-3-1

9 【対象チーム】 原則として関東ラグビーフットボール協会管下の中学校、ラグビースクール(含むジュニアラグビークラブ)とする。

10 【参加チームの調整】

「参加ニーズ確認書」の提出状況を確認、受け入れる参加チーム数を調整する。なお、関東協会管下チームについては、試合時間や試合数などでの調整を行うことも想定している。

但し、この調整が困難な場合には、関東協会管下チーム内については ① 東北地区 ➤ ② 関東甲信越地区 ➤ ③ 北海道地区の所在地のチームの順で参加の可否の優先順位となる。

なお、関東協会管下以外のチームについては関東協会管下チームに劣後するが、可能な場合に参加を受け入れる。

11 【チーム形態】

- ・ 単独チーム・合同チーム
- ・ 都道府県の選抜チーム・都道府県単位で合同した選抜チーム

12 【カテゴリー】

以下、3つのカテゴリーとし、12人制にて実施する

(1) U15 (男女) (2) U13 (男女) (3) 女子

13 【参加資格】

以下(1)、(2)、(3)の要件を満たすこと。
(1) 2023年4月1日現在、中学校の生徒(U15は中学3年生、中学2年生、U13は中学1年生)に該当する生年月日であること。 (※巻末参照下さい)

(2) 過年度生、外国籍選手については、JRFUの大会規定による (※ 巻末参照下さい)

(3) 保護者が参加を承諾した者であり、自ら参加を希望する者

- ・ 期日までに保護者承諾書の提出必須選手は保護者の同意の元、自ら参加する意思を持っていること

(4) 参加者全員は毎朝の検温を行い、37.5度を超えていないことを確認する

37.5度を超えている参加予定者は何人たりとも当ジャンボリーへの参加はできない

14 【感染症に関する感染防止ガイドライン】

2023年5月8日、新型コロナウイルス感染症が2類から5類に変更されたことに伴い、JRFUでも、それまでに発出していた各種通知を廃止しました。

この結果、現状では、感染症に関する「感染予防について」のJRFU通達、及び内閣府から発出されている「マスク着用の考え方の見直し等について」に従うことになりますので、適切な運用をお願いします。 ※ 本事項はJRFU方針に準拠しています

= 資料 =

- ・ 2017年7月8日発行 感染症予防について (JRFU 通達)
https://www.rugby-japan.jp/2017/07/08/prevent_infection/
- ・ 2023年2月10日発行 マスクの着用の考え方の見直しについて (内閣官房)
https://corona.go.jp/news/news_20230210_01.html

15 【チームの試合数と試合時間】

本事項については参加チーム数によっては調整の上、変更する場合があるので注意

1) カテゴリー毎の試合数と試合時間以下の通りの(予定)とする

- ・ U15…2日で4試合 ・ U13…2日で3試合 ・ 女子…2日で3試合

2) 試合時間の予定はU15…17分ハーフ U13…15分ハーフ 女子…15分ハーフ

16 【申込方法】

以下の手順にて行う

<手順概要>

参加ニーズ確認書の提出(2023年6月6日17:00〆切) ➤ 岩手県協会を確認・調整 ➤
参加を承諾したチームに申込書送付(6月中旬) ➤ 申込に関する必要書類の提出 ➤
確認

※ 但し、申込多数の場合は主管協会にて調整の上、受入チームを決定、要望に応えられないことも前提に予め承諾の上、申込みをすること。

<申込書の提出期限> 2023年7月上旬〆切予定

- ・ 岩手県協会から参加申込書類一式 (実施要項 参加登録書、保護者承諾書、健康調査

シート等)を参加承諾チームに送付 → 承諾されたチームは岩手県協会にメールにて提出

※ 合同・選抜チーム、構成するスクール・中学校単位ではなく、大会参加チーム単位で代表者が一括して申し込む → 詳細は申込書に記載予定

17 【競技方法など】ジャンボリーの趣旨に則り、交流試合として順位は定めない

(1) **【競技規則】** 2022年(公財)日本ラグビーフットボール協会制定のジュニアラグビー競技規則による。同時に同協会「U-15 ジュニアラグビー競技ガイド」を準拠

18 【傷害保険】 選手は参加チームにてスポーツ安全保険等の傷害保険への加入が必須

19 【費用】 費用は自費とする。なお、ジャンボリーへの参加費は1チーム5千円(大会申し込みチーム毎)。1年生チームからの徴収はなし。参加費は大会当日、受付の際にご持参ください。

20 【登録人数】 1) 監督1名 2) コーチ3名 3) 選手22名

21 【大会期間中の救急指定病院】

岩手県立中央病院 盛岡市上田1丁目4-1 019-653-1151

22 【代表者会議・懇親会】

1) 代表者会議 8月5日(土) 17:30~18:00

会場: 未定

2) 懇親会 8月5日(土) 18:15~20:00

会場: 未定

会費: 5,000(予定)

23 【宿泊】 参加申し込み時に「宿泊申込書」に記入し大会事務局へ申し込むこと。

1) 宿泊先 八幡平市観光協会が参加申込人数を考慮しグラウンド近郊の宿を配宿します。

2) 宿泊料 大人(指導者・保護者) 1泊2食 12,000円(予定)

選手(中学生) 1泊2食 11,000円(予定)

懇親会参加者の1泊朝食料金は協議中

3) 弁当代 1個 880円(お茶無し) 予定

24 【大会事務局】

(一社) 岩手県ラグビーフットボール協会 普及育成委員長 鈴木 淳

TEL 019-639-5573

メール a-suzuki@themis.ocn.ne.jp

////////以下は当ジャンボリーの特例・及び運営方法の確認////////

【選手交替】 試合途中において登録されたリザーブプレーヤー全員の交代を認める。

【試合時間】 未定、ロスタイムは取らない。ハーフタイムは5分以内

【レフリー】 開催県が中心となり手配するが、例年通り帯同レフリー(B級以上の有資格者)の協力を要請する。費用は参加チーム負担とする。

【AR】各チーム帯同とする。

【ボールパーソン】次の試合のチームより3名をお願いする。

【アフターファンクション】試合終了後グラウンド近隣にてレフリーの講評、両チームキャプテンコメント程度を行う。

【女子の試合】申し込み状況により実施する。

【合同チームの編成】単独ではチーム編成の要件が満たせない場合、事前に参加チーム間で調整の上、チーム編成をするか、主催協会で当該チームの編成を斡旋する。

////////以上、当ジャンボリーの特例・及び運営方法の確認////////

<備考欄> =参考=

【選手の参加資格】詳細

・各カテゴリーの参加選手資格は、JRFU Rugby Family に参加チームを通じて「登録」している以下の者とする

- (1) U15(男女)・・・現中学2、3年生（平成20年（2008年）4月2日～平成22（2010）年4月1日生まれ）の者
- (2) U13(男女)・・・現中学1年生（平成22年（2010年）4月2日～平成23（2011）年4月1日生まれ）の者

【過年度生】※下記過年度生や外国籍選手の扱いについては、JRFU の中学生大会規定に依る。

・ 過年度生徒については、中学生に留まっている理由が病気などによって出席日数の不足等やその他明らかに正当な理由がある場合には、1 年間に限定して選手登録することができるが、試合への出場は同一時間に 1 名の出場に限る。

但し、当該選手の所属する中学校長の承諾を要する。但し、外国籍選手に該当する者については、本措置は適用しない。

【外国籍選手】外国籍の者は選手登録をすることはできるが、試合への出場は、同一時間に 1 名以内の出場に限る。

・ 但し、以下の①～④に該当する外国籍選手は日本国籍者と同様の扱いとなる。

- ①本人、両親又は祖父母のうち 1 名以上が日本で生まれた。
- ②選手登録の時点から遡って連続して 60 か月日本に居住している。
- ③通算して 10 年以上日本に居住したことがある。
- ④本人及び本人と生計を一にする者(保護者)の生活の本拠が日本にある。

以上